

① 急性経口毒性試験	ノロックス(調整次亜塩素酸水)有効塩素濃度200mg/L(ppm) pH6.0 25℃を検体として、マウスを用いる急性経口毒性試験(限度試験)を行った。20 mL/kgの用戴の検体を雌雄マウスに単回経口投与し、14日間観察を行った。その結果、観察期間中に異常及び死亡例は認められなかった。以上のことから、マウスを用いる単回経口投与において、検体のLD50値は、雌雄ともに20 mL/kgを超えるものと評価された。
② ヒト培養皮膚モデルを用いる皮膚刺激性試験	ノロックス(調整次亜塩素酸水)有効塩素濃度 200mg/L(ppm)pH6.0 25℃について、TG439: OECD Guideline for Testing of Chemicals 439 (2015)に準拠し、ヒト培養皮膚モデルにおける皮膚刺激性試験を行った。試験結果は細胞生存率の平均値は50%を上回ったため、皮膚刺激性は非刺激性と評価された。

#### 4. 応急措置

目に入った場合	問題はないが、念のため流水で洗い流す。
皮膚に付着した場合	問題はないが、念のため流水で洗い流す。
飲み込んだ場合	問題はないが、気分が悪くなった場合は牛乳をコップ一杯程度飲む。万が一異常を感じる場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	問題はないが、新鮮な空気のある場所に移動し安静にする。

#### 5. 火災時の措置

火災時の危険・有害性	不燃性で助燃性もなく、有害ガスを発生することもない。
------------	----------------------------

#### 6. 漏出時の措置

漏出した場合	直ちに流出を防止し、ウエスなどで吸収させて除去する。残りは水で洗い流す。
--------	--------------------------------------

#### 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	漏れ、あふれ、飛散しないよう注意する
保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開栓した容器で再び保管する場合には、密栓を確認する。</li> <li>・密閉容器に入れ、冷暗所など換気の良い場所に直射日光や雨水を避けて保管する。</li> <li>・強酸化剤、酸とは離して保管する。</li> </ul>